

〈研究題目〉

ピロリ除菌後の胃がん発生率に関する調査

(H.pylori 感染胃炎に対する除菌療法成功後症例の長期観察による胃癌発生率の検討)
～長期前向きコホート研究～【Kyoto pylori 10000】

1. 研究の対象

当院においてピロリ菌の除菌治療を受け成功した方

2. 研究目的・方法

ピロリ菌の除菌は胃がんの予防に有効ですが、除菌後も胃がんが見つかることがわかっています。しかしながら、除菌後どのくらい経って、どのくらい確率で、どのような人に胃がんが出やすいかということに関しては明らかになっていません。本研究の目的は、ピロリ菌除菌治療後の胃がん発症状況を調べることです。これにより、発がん率、リスク因子、最適な内視鏡検査施行の間隔などが明らかになる可能性があります。

3. 研究に用いる資料・情報の種類

当院においてピロリ菌の除菌治療を受け成功した方を対象とし、年齢、性別、既往歴などをデータベースに登録します。その後も通常の診療通り定期的に胃カメラを受けていただき胃がん発生の有無を確認します。本研究において患者様に特別な費用負担がかかることはございません。

4. 外部への試料・情報の提供

個人情報の取り扱いについては、氏名や住所など患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたしますので、第三者に特定されることはありません。プライバシーへの最大限の配慮を行った上で、研究成果は学会や学術雑誌などで公表される予定です。

5. 研究組織

本院では京都府立医科大学消化器内科を主導に行われています多施設共同研究「ピロリ除菌後の胃がん発生率に関する研究（課題名：H.pylori 感染胃炎に対する除菌療法成功後症例の長期観察による胃癌発生率の検討～長期前向きコホート研究～【Kyoto pylori 10000】）に参加しています。

6. お問い合わせ先

本研究は日常診療の一環として行う臨床情報を調査する研究であり、情報等の使用について同意書は頂きません。診療情報が本研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、担当医師か下記の連絡先にお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

近江八幡市立総合医療センター 消化器内科

間嶋 淳

TEL 0748-33-3151（お問い合わせの際は「ピロリ 10000 の件で」とお伝えください）